

## 平成 29 年度市長とのタウンミーティング要旨

日時	平成 29 年 11 月 18 日 10:00～11:30	会場	人権文化センター大会 議室	来場者数	20 人
----	----------------------------------	----	------------------	------	------

### ◆意見交換の概要

テーマ「新庁舎整備基本計画（案）」について	
市民の意見・質問	市の回答
駐車場を原則有料化することについて、コミュニティセンター利用者に無料の対応を検討していただきたい。	現時点では料金体系は未定だが、シティプラザなど他の公共施設駐車場の料金体系を踏まえて検討を進める。
庁舎内のセキュリティについて、市民が利用する区画と職員が執務する区画を厳しく区分していただきたい。	基本的には、市民が利用する区画は通路とカウンター部分とし、職員が執務する区画には立ち入らないように区分する。
コミュニティバスについて、庁舎の敷地への乗り入れを検討していただきたい。	基本設計段階において、検討を進める。

テーマ「教育・子育て」について	
市民の意見	市長の考え
親がさせるのではなく、「子育て」という観点が大切で、子どもたちが自分で遊びを考えたりすることが、その後の生きる力に繋がると思う。	遊びや、遊ぶ場を親や周囲が提供してもそれが本当に子どもがしたいことなのかどうか。子どもが自ら遊びを考えることの大切さは同感。子ども議会でも大人にはない、子ども独自の視点に驚かされることがある。
10 数年前に泉北を中心に O-157 食中毒が問題となった。給食センターから各校にご飯を運搬していた中で雑菌が繁殖した。和泉市は自校方式で調理している。市長も子どもたちに安全な食を届けたいとおっしゃるのはいいことだと思う。 親戚からも和泉市には中学校にも給食があっけうらやましいと言われた。今でこそ他市でも給食が始まりだしているが、先進市としてこれからも頑張ってもらいたい。	和泉市はセンター方式で行うことはない。食中毒が非常に怖い。食の安全安心を守っていききたい。
給食の中身だが、遺伝子組換え作物などの健康への影響はわからないが、地元産の、できるだけ有機栽培による食材を用いるべきだと	農家が地域の子どものために、もうからないがしっかり作ってくださっている。 給食の委託については、調理だけを委託食材

<p>考える。和泉市は多少高くついても安全な食を提供するのだという姿勢を出してほしい。</p>	<p>は行政が購入しており、できるだけ地産地消を取り入れている。</p>
<p>せっかく農家が作ってくださった食物なのに、給食の残飯が発生している。口に入れるものを作るために、どれだけ大変なのか、道徳教育にも繋がるがしっかり学校教育現場は伝えていくべきと思う。</p>	<p>例えば、子どもが好きでもカレーばかり出しているのは食べ残しも出る。こどもへ「食の大切さ」を伝えるなど声掛けを行い、食べ残しを減らしていくよう努める。また、調理の献立についても工夫していると聞いているので、そういった部分でも食べ残しも減らすよう努めていきたい。</p>
<p>施設一体型の小中一貫校だが、幸小、池上小のこどもをあわせても中学校では1クラスになる場合も出てくる。市長の考える富秋中学校の姿とは。</p>	<p>和泉市の義務教育学校は施設一体型で1年生から9年生までである。富秋中学校区は少子化が進んでいる。富秋校区のまちづくりを進めていく中で小中一貫教育がいいのか、地元の議論を頂くことが大切。施設一体型の小中一貫校がいいのではないかと思っているのは富秋中学校と槇尾中学校。</p>
<p>カーブミラーが幸校区にはついていないと思うがなぜか。</p>	<p>校区ごとに分け隔てすることはなく、交通上あぶない場所につけている。各町に交通安全委員がおられる。市の道路河川室交通担当に連絡いただければ対応する。</p>
<p>団地に空き部屋がある。放っているよりも安い値段で入居してもらえばいいのではないか。まだ団地に住めるように思うし、内装は自分で対応してもらえば入居できるのでは。</p>	<p>建て替え計画があり、まち全体をどうして行くか検討している。できるところはできるようにしている。</p>
<p>小栗の湯はぬるいし、汚い。大きな浴槽や1階の広場は不要。代わりにサウナや水風呂をつけて、熱くきれいな銭湯にしてほしい。</p>	<p>お風呂はコミュニケーションの場でもあり、今後まちづくり計画で、どうして行くのか話し合っていければと思う。</p>